

みずほCustomer Desk Report 2017/09/19 号 (As of 2017/09/18)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】					公示仲値	-	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	
TKY 9:00AM	111.18	1.1937	132.72	0.9608	1.3577	0.7996	
SYD-NY High	111.66	1.1969	133.42	0.9640	1.3618	0.8035	
SYD-NY Low	110.90	1.1915	132.62	0.9580	1.3465	0.7940	
NY 5:00 PM	111.56	1.1955	133.35	0.9619	1.3497	0.7960	
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			9.39/9.75	△25RR	0.810	Yen Call Over	
NY DOW	22,331.35	63.01	債券市場	日本2年債	-0.1340	-	
NASDAQ	6,454.64	6.17		日本10年債	0.0290	-	
S&P	2,503.87	3.64		米国2年債	1.3947	1.4bp	
日経平均	-	-		米国5年債	1.8256	2.0bp	
TOPIX	-	-		米国10年債	2.2287	2.6bp	
シカゴ日経先物	20,015.00	135.00		独10年債	0.4550	2.2bp	
ロンドンFT	7,253.28	37.81	為替市況	英10年債	1.3020	▲0.7bp	
DAX	12,559.39	40.58		豪10年債	2.7990	5.8bp	
ハンセン指数	28,159.77	352.18		USD/CNH	6.5752	0.0273	
上海総合	3,362.86	9.24		ドルインデックス	92.05	0.17	
USDJPY 3M Vol	9.68	0.28%		商品市況	CRB指数	183.734	▲0.32
USDJPY 6M Vol	9.67	0.15%			NY金	1,310.80	▲14.40
EURJPY 3M Vol	9.52	0.19%	WTI		49.91	0.02	
EURJPY 6M Vol	9.82	0.11%	Dubai Spot		54.35	0.14	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月18日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.3%/1.5%	0.3%/1.5%
	0:00	カーニーBOE総裁 講演	-	-
	3:15	レーンBOC副総裁 講演	-	-

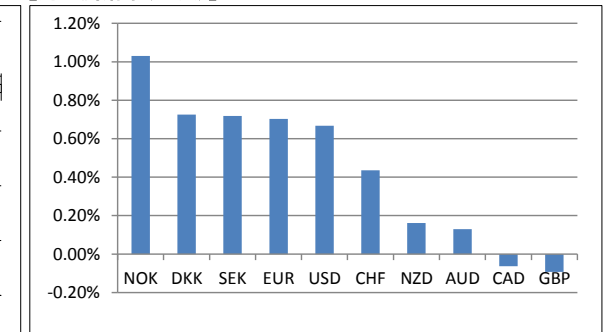
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月19日	10:30	豪 RBA議事要旨	-	-
	18:00	ZEW調査(現状/期待)	9月 86.2/12.0	86.7/10.0
	21:30	住宅着工件数/建設許可件数	8月 1174K/1220K	1155K/1230K
	21:30	経常収支・確報	2Q -\$116.0B	-\$116.8B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1900-1.2000	132.50-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円相場は、東京市場が休場となる中、底堅く推移。先週末金曜日には、イングランド銀行金融政策委員会の中でもハト派と見られるぶりは委員が今後数ヶ月以内の利上げが必要との見解を示したことで、債券が大きく上昇し、ドル円も対GBPをはじめとしたクロス円の堅調推移にサポートされ底堅く推移した。昨日も東京市場が休場となる中、

アジア	オセアニア時間のドル円は前週末の底堅い流れを引き継いでこの日の安値となる110.90から111円台前半にかけて堅調推移。アジア時間のドル円は111.18レベルでオープン。週央に予定されているFOMCや日銀金融政策決定会合、週末の独・仏選挙等のイベントを控える中で、様子見ムードが広がる中、ドル円は111円台前半での揉み合い推移が継続。その後、アジア時間終盤にかけてドル円は、ややじり高の展開となり一時的に111.29まで上昇するも、結局111.24レベルで海外へ渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111円台前半で堅調推移。この日は本邦祝日であることや19日から20日にかけて予定しているFOMCを控えた様子見ムードが広がるも、先週からのリスクオフの巻き戻しの流れを受けて7月27日以来の高値となる111.43まで上昇。111.38レベルでNYへ渡った。ポンドは1.3600レベルでオープン。先週末15日(金)にハト派として知られていたBOE金融政策委員会の外部委員ブリン氏が「経済データの変化につれ、利上げが必要になる時が近づいている」と述べたため11月2日の英中銀の政策金利の0.25%から0.50%への引き上げの可能性が高まりポンド相場は急騰。この日もポンド相場の上値を探る動きは止まらず約15か月ぶりに付けた先週末金曜日の高値1.3616を上抜け1.3618まで上昇。その後はカーニー-英中銀総裁のIMFでの講演を控える中で調整の売りが先行し1.3532まで下押し。結局1.3540レベルにてニューヨークへ渡った(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	海外市場は、先週末のリスクオフムード巻き戻しの動きを引き継ぎ、米株も堅調推移する中ドル円は111円台前半で底堅く推移し、111.38レベルでNYオープン。高値で寄りついた米株が一段と上げ幅を拡大する動きや、米金利の上昇も相俟ってドル円は上昇。カーニー-BOE総裁の「政策金利の引き上げは穏やかなペースにとどまる」とのハト派な発言を受けて、ポンド売りドル買いが強まったことや、レーンBOC副総裁の「カナダドルの上昇が国内経済に及ぼす影響を注視している」とのカナダドル高懸念発言を背景にカナダドル売りドル買いが強まったことなどを背景に、ドル円はこの日の高値となる111.66まで上昇。しかし7月27日以来となる水準ではドル売り意欲も強く111.39まで反落。その後は111.50付近での動きに欠ける推移が続き、111.56レベルでクロス。なお、ダウ工業株、S&P500種は共に過去最高値を更新。一方ユーロドルは1.1944レベルでNYオープン。米金利の上昇を背景にドル買いが強まると、1.1923まで下落。しかし、特段ユーロ売り材料も無い中では、海外時間安値1.1915が意識され下げ渋る展開。その後は1.1950を挟んでの方向感に欠ける推移が続き、1.1955レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。